

IBAT^{※1}を用いた日本触媒グループの生産拠点に近接する生物多様性重要地域の数（半径3km圏内）

2024年12月16日現在

拠点名	立地	IUCNカテゴリー ^{※2}	世界遺産 ^{※3}	ラムサル条約 湿地 ^{※4}
株式会社日本触媒 姫路製造所	姫路市 兵庫県、日本	2 (V, VI)	0	0
株式会社日本触媒 川崎製造所	川崎市 神奈川県、日本	3 (IV, IV, IV)	0	0
日宝化学株式会社 千町工場	いすみ市 千葉県、日本	3 (IV, V, V)	0	0
中国化工株式会社	倉敷市 岡山県、日本	1 (IV)	0	0
日本乳化剤株式会社 川崎工場	川崎市 神奈川県、日本	3 (IV, IV, IV)	0	0
日本乳化剤株式会社 鹿島工場	神栖市 茨城県、日本	0	0	0
東京ファインケミカル株式会社 横須賀工場	横須賀市 神奈川県、日本	3 (IV, V, VI)	0	0
日触テクノファインケミカル株式会社	市川市 千葉県、日本	3 (IV, V, VI)	0	0
ニッポンショックバイ・アメリカ・インダストリーズ Inc. ヒューストン工場	ヒューストン テキサス州、米国	1 (V)	0	0
ニッポンショックバイ・アメリカ・インダストリーズ Inc. チャタヌガ工場	チャタヌガ テネシー州、米国	1 (V)	0	0
ニッポンショックバイ・ヨーロッパ N.V.	アントワープ ベルギー	4 (IV, IV, IV, VI)	0	0
シンガポール・アクリリックPTE LTD	シンガポール	0	0	0
PT. ニッポンショックバイ・インドネシア	チレゴン バンテン州、インドネシア	0	0	0
日触化工(张家港)有限公司	張家港市 江蘇省、中国	0	0	0
中日合成化学股份有限公司 林園工場	高雄市 台湾	0	0	0

- ※1 IBAT (Integrated Biodiversity Assessment Tool) : バードライフ・インターナショナル、コンサベーション・インターナショナル、国際自然保護連合(IUCN)、国連環境計画の世界自然保全モニタリングセンター(UNEP-WCMC)により開発・提供されている生物多様性統合評価ツール。潜在的な生物多様性への影響に対処するリスク管理および意思決定プロセスに情報を提供するために、生物多様性優先サイトに関する重要な情報へのアクセスを主要意思決定者に提供
ライセンス（29422-77341）のもと、2024年12月16日に作成したIBAT開示準備レポートより抜粋。 <https://www.ibat-alliance.org>
- ※2 IUCNカテゴリー：保護地域の管理目標に基づき、各国の保護地域ネットワーク間の国際比較を可能にするため、各国政府機関によって法的に保護された地域に割り当てられる、IUCN（国際自然保護連合）が定めるカテゴリー分類。Ia 厳正保護地域、Ib 原生自然地域、II 国立公園、III 天然記念物、IV 種と生息地管理地域、V 景観保護地域、VI 資源保護地域。 <http://www.iucn.jp/park/protection/reserve/reserve>
- ※3 世界遺産：文化的、歴史的、科学的、またはその他の形で重要な意味を持つものとしてユネスコが選定し、国際条約によって法的に保護されているランドマークまたは地域。人類の集団的利益にとって重要であると判断された遺跡
- ※4 ラムサル条約湿地：国際的に重要な湿地に関する条約（通称ラムサル条約）に基づく義務を果たすために、各国政府が保護する湿地